

平成26年度
優秀賞

京セラ株式会社 鹿児島川内・国分・隼人工場

会社概要

京セラ株式会社は京都に本社を置き、全国10ヶ所に工場がある。鹿児島県には川内工場（1969年設立）、国分工場（1972年設立）、隼人工場（1983年設立）の3つの工場があり、ファインセラミック部品、半導体部品、自動車部品、電子部品等の製造を行っている。平成22年2月には、鹿児島県と「かごしま環境パートナーズ協定」を締結し、普及啓発活動やイベントへの参加等の環境保全活動に取り組んでいる。

削減実績

C02 排出量削減率 12%達成（平成22年度比）

※電力排出係数の悪化の影響に配慮し、電力排出係数を基準年度（平成22年度）に固定して実績排出量を算定し、計画期間（平成23年度～平成25年度）の平均排出量を評価した。

実施した対策

現場の声を反映する削減活動の実施

各工場で省エネルギーを推進する委員会が開催され（2か月に1回）、当委員会では削減目標達成度の報告や事業部毎の省エネ事例の発表が行われており、省エネ事例は現場からの声も反映されている。効果のある省エネ事例は、他工場にも情報提供され水平展開を図っている。

照明の省エネ

蛍光灯から約40～55%省電力である自社製の直管型LEDへの更新を順次進めており、照明に係る電力を削減している。

また、廊下や機械室などに人感センサーを設置し、更なる省エネを図っている。

空調用冷凍機の省エネ

ターボ冷凍機の冷却水温度の最適化によりC02排出量375t-C02/年削減、ターボ冷凍機の冷却水排熱をクリーンルーム空調用温水に利用することによりC02排出量308t-C02/年削減等の様々な対策を実施している。

また、更なる省エネ対策として、2014年度に吸収式冷凍機を高効率のモジュールチラーへ更新しており、C02排出量1,427t-C02/年削減を見込んでいる。

空気圧縮機の省エネ

自動台数制御（システムを内製化）の実施、圧縮空気露点の適正化（緩和）、ヒートレスドライヤへの省エネ機能追加により、電力使用量の削減に繋がった。

生産設備の省エネ

焼却炉におけるヒートパターンの見直しや、焼却炉から発生する廃熱を回収して温水を製造するシステムの構築により、電気、LNG使用量の削減に繋がった。

今後は、工場WEB上の見える化システム等による新たな省エネ対策の発掘や、効果実証済の対策の水平展開等を予定している。



高効率モジュールチラー



コンプレッサ(自動台数制御)